

川崎麻央 (日本画家) **K**awasaki mao

柿田勝郎面工房 (面職人) **K**akita katsuro

河野英喜 (写真家) **K**ono hideki

神楽職人 (細川史子/植田倫吉/川邊志津枝) **K**agura craftsman

石見神楽を支えつながら

K4 展



2023年

〈入場無料〉

11/11(土) ▶ 11/26(日)

開館時間：9:30～17:00(入館は16:30まで)※最終日は16:00まで

休館日：毎週月曜日、11/24(金)



浜田市世界こども美術館

3階・コレクション室



「カムガカリ」紙本彩色 四曲一隻屏風 個人蔵



「しよっぴー」絹本彩色



「須佐湾花火大会」絹本彩色

川崎麻央 Mao Kawasaki (日本画家)



- 1987年 島根県益田市生まれ
- 2008年 東京藝術大学日本画専攻入学
- 2014年 修了作品「衆生の恩」東京藝術大学美術館買上げ賞 杜賞、第29回有芽の会「はじまりの私へ」法務大臣賞、再興第99回院展 初入選('15-'17以降毎年)
- 2015年 第70回春の院展 初入選(以降毎年)
- 2016年 東京藝術大学大学院博士審査展修了制作「解けよもどけ」野村美術賞・藝大美術館収蔵
- 2017年 東京藝術大学大学院日本画研究領域修了 博士号(美術)取得
- 2018年 第73回春の院展「火の御子」奨励賞、石見のいる 出雲のかたち(かわべ美術)
- 2019年 再興第104回院展「先ずは岩戸の其の始め」奨励賞、川崎麻央日本画展 一神遊び(日本橋三越本店)
- 2020年 第75回春の院展「国来、国来」春季展賞・郁夫賞、第11回春の足立美術館賞、島根県益田市スポーツ・文化顕彰、再興第105回院展「白兔予祝」奨励賞、第26回天心記念茨城賞
- 2021年 第8回日経日本画大賞展入選、月刊誌「更生保護」表紙絵担当(2021年8月~2022年7月)、川崎麻央日本画展—ウブスナー(一畑百貨店松江店)、再興第106回院展「日の御綱」奨励賞、日本美術院 特待推挙
- 2022年 川崎麻央日本画展—特別企画 更生保護表紙絵原画展—(阪神梅田本店)、再興第107回院展「音楽室は根の国」大観賞・東京都知事賞
- 2023年 第78回春の院展「ほろろ」奨励賞、川崎麻央日本画展—いつもあなたと—(西武池袋本店)、再興第108回院展「神楽の貌」奨励賞
- 現在 東京藝術大学日本画テクニカルインストラクター、日本美術院 特待



細川史子
(細川神楽衣裳店)

石見神楽の発展のきっかけになった細川勝三氏の工房。現在は娘さんである千秋さんとお弟子さんと共に看板を守っています。



植田倫吉
(植田蛇胴製作所)

提灯型の大蛇胴を発明した植田菊市氏の工房。現在は、3代目の植田倫吉さんの手によって匠の技が守られています。



柿田勝郎
(柿田勝郎面工房)

1972年、柿田勝郎氏によって立ち上げられた工房。近年では全国の祭りに使用される面を製作。現在は2代目の柿田兼志さんが先代の志を引き継いでいます。



川邊志津枝
(福屋神楽衣裳店)

1973年開業以来、石見神楽の衣裳作りを手がけてこられた工房。絵柄にガラス製のビーズを使用するなど多くのこだわりが織り込まれています。



河野英喜
(写真家)

浜田市出身。1992年独立後、女優・タレント・声優など人物を主たる被写体とした作品には定評があります。商品広告・映画ポスター・写真集をはじめ、各誌の表紙など活躍の場は大きな広がりを見せています。

11月11日(土)

オープニングイベント 会場:3階・多目的ホール

〈トークイベント〉10:00~11:20

パネルディスカッション「石見神楽を支えつながら」

コーディネーター

久保田章市 浜田市長

パネラー

川崎麻央、柿田兼志、小川徹、河野英喜

〈石見神楽上演〉11:30~12:30

島根県立浜田商業高等学校 郷土芸能部

〈川崎麻央 絵画教室〉14:00~16:00 ※参加無料 事前に申し込みが必要

カラフルな和紙に日本画の顔料を使って絵を描いてみよう
・定員 15名(小学生から高校生まで)

11月1日(水)午前9時よりお電話にてお申込みください(先着順)
申込み先 浜田市世界子ども美術館 TEL 0855-23-8451

長い歴史のなかで、人々に愛され育まれてきた石見神楽は、地域の至宝とも言えます。その石見神楽を支えつながらの人々。東京藝術大学で講師を務めながら、日本美術院特待として活躍されている川崎麻央氏による、子ども時代の石見神楽の思い出を題材にした新作。「柿田勝郎面工房」の神楽面。「神楽面」と共に石見神楽の上演に欠かすことのできない「神楽衣裳」や「蛇胴」。神楽職人さんの作業風景を撮影した、河野英喜氏による写真。本展では、石見神楽と同じく地域の大切な財産である「神楽面」、「神楽衣裳」、「蛇胴」といった神楽関連の品や、神楽を題材にした優れた日本画や写真を展示します。

また、展覧会初日には、オープニングイベントとしてパネルディスカッションや高校生による石見神楽上演、さらに、川崎氏による「日本画絵画教室」を開き、大変珍しい日本画の顔料の準備から作品作りまでを子ども達に体験してもらいます。

K4展は、石見神楽を支えつながらの人々と、その仕事に光をあてることにより、石見神楽の歴史や広がり、伝統の継承と発展に思いをはせるべく企画しました。たくさんの方々のお越しをお待ち申し上げます。



浜田市世界子ども美術館

〒697-0016 島根県浜田市野原町859-1
TEL 0855-23-8451 FAX 0855-23-8452
<https://www.hamada-kodomo-art.com>

- ・主催/プロジェクトN、柿田勝郎面工房、日本海信用金庫(100周年記念事業)、石見神楽東京公演首都圏実行委員会、公益財団法人浜田市教育文化振興事業団(浜田市世界子ども美術館)
- ・後援/島根県、島根県教育委員会、浜田市、浜田市教育委員会、一般社団法人浜田市観光協会、浜田石見神楽社中連絡協議会、株式会社山陰中央新報、石見ケーブルビジョン株式会社
- ・協力/地域伝統芸能大賞支援賞受賞(細川神楽衣裳店、植田蛇胴製作所、柿田勝郎面工房、福屋神楽衣裳店)、株式会社松永牧場、特定非営利活動法人浜田芸術文化のまちづくり推進協会、石州和紙会館、石州和紙久保田